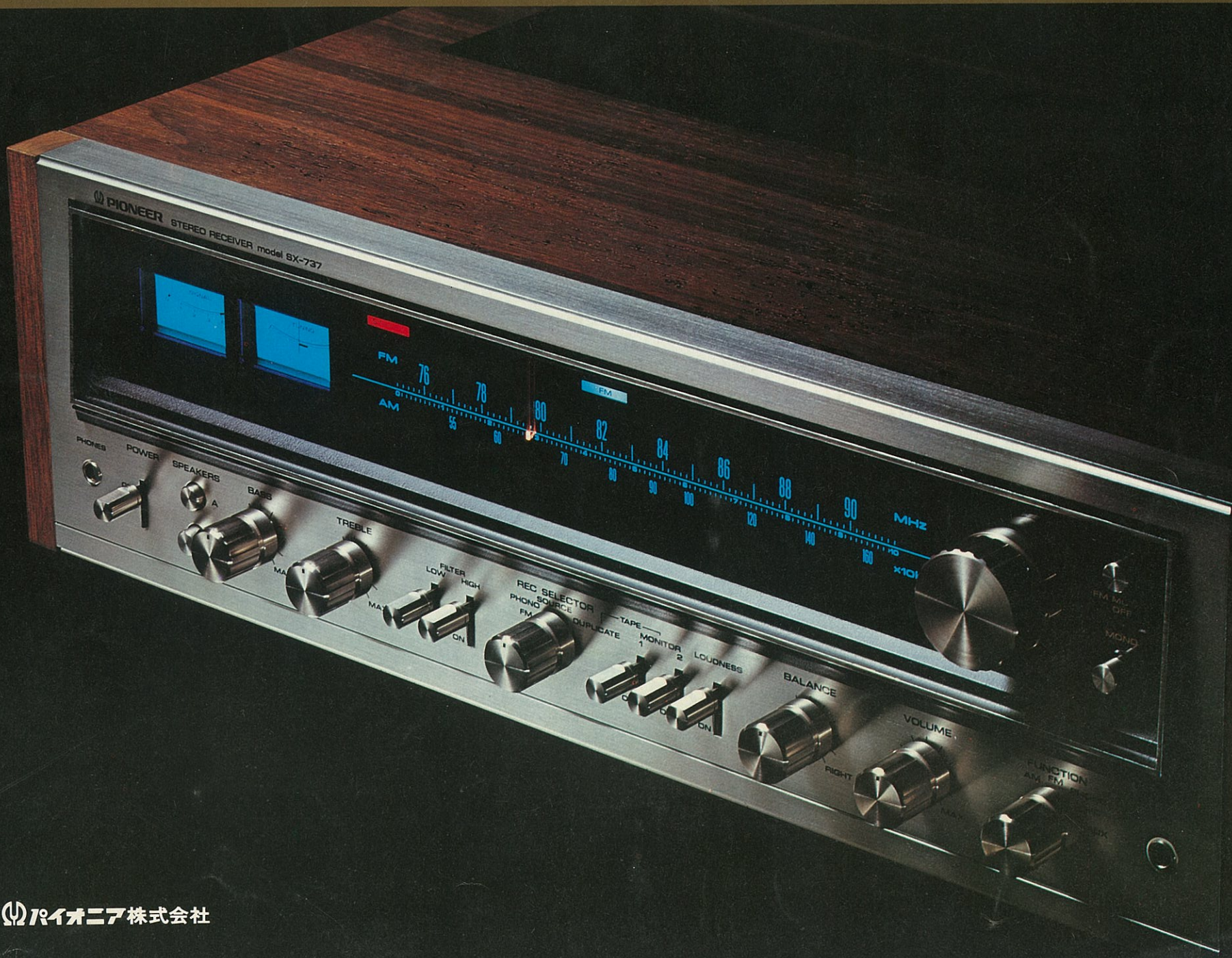


PIONEER

レシーバー総合カタログ

STEREO RECEIVERS



SX-818

SX-737

SX-717

SX-636

SX-535

SX-434

SX-300

QX-704

QX-604

QX-401

チューナーとプリメインアンプが一体となって、使いやすく、コンパクトで多機能性が魅力のステレオレシーバー。

コストパフォーマンス、スペースファクターなどの実質面を考えると、コンポーネントシステムの中心として、この合理性はみのがせません。

レシーバーの構成は大きく分けて、チューナー部、プリアンプ部、パワーアンプ部の3つの部分から成りたっています。

チューナー部は、FM電波を受信するフロントエンド、希望信号だけをシャープに選択し雑音成分を抑圧してしまうIF部、FMステレオ信号をLとRに分離するマルチプレックス(MPX)部、さらにAMチューナーが組込まれています。

プリアンプ部はコントロールアンプとも呼ばれ、レコードからピックアップした信号を受けるイコライザーアンプ、チューナーやテープデッキ、プレーヤーなどからのソースを選ぶ入力セレクター、音量調節、音の調子やバランスを調整するトーンコントロールアンプで構成され、付属回路としてフィルター、ミュートイング等のある場合もあります。

パワーアンプ部はスピーカーシステムを駆動する部分でプリアンプの出力を十分な音量が得られるように増幅する働きをします。また、スピーカーシステムの切換えスイッチやヘッドホン端子などのアクセサリ回路が付属しています。

ここにご紹介するステレオレシーバーは、この3部門それぞれの単体性能を追求し、最良のバランスで組合せたもので、最新の回路技術と専門メーカーパイオニアの長年のアンプづくりのキャリアが息づく完成度の高いステレオコンポーネントです。

従来のレシーバーイメージを大きくのり越えた、このパイオニアレシーバー群。すぐれた性能の詳細をご検討ください。

ステレオレシーバー

SX-818

¥100,000

IC化されたチューナーと、全段直結純コンOCL方式のパワー部。実効出力55W + 55W (20~20,000Hz,両ch駆動, 8Ω, 歪率0.3%以下)

低歪率ハイパワー設計で品位の高い音質を豊かに再生。



SX-818はレシーバーの最上級にランクされる高級機。低歪率ハイパワー設計の全段直結純コンプリメンタリーOCL回路採用。オーディオ機器として最も重要な再生周波数帯域20~20,000Hzにおいて、55W+55Wの大出力を約束しています。またチューナー部の大幅なIC化にともない、高性能化に加えて信頼性が一段と向上しています。付属機能としては最高級機にふさわしく幅広い応用性を求め、PHONO, TAPE REC/MONそれぞれ2系統とA, B, C3組のスピーカー端子など、豊富な入出力端子を備えています。品位の高い音質と多機能性をもつSX-818、魅力の高級ステレオレシーバーです。

FMフロントエンドにはMOS FET,4連バリコン使用。高感度で安定した受信能力を發揮。

FMチューナーの目ともいえるフロントエンドには、低雑音デュアルゲートMOS型FETを使用。4連バリコンとの組合せで高感度、高S/Nを得ると同時に、イメージ/スプリアス妨害比など混信排除能力にすぐれています。したがって遠隔地での高S/N受信はもちろん、強電界地域でも安定した受信ができます。

最新の回路技術を駆使して諸特性にすぐれたIF部とFM MPX部。

IF部は全段をIC化し、選択素子にはとくに位相特性に留意したフェイズリニアセラミックフィルターを採用。キャプチャレシオ、2信号選択度にすぐれた雑音や歪の少ない音質を得ています。また、FM MPX部にも専用のICを採用。高い性能に加えて信頼性を大幅に向上させ、広い周波数帯域にわたって安定したセパレーションと低歪率を得ています。

低歪率、大出力の全段直結純コンプリメンタリーOCL方式のパワーアンプ。

パワーアンプは全段直結純コンプリメンタリーOCL方式。低歪率でかつ55W+55Wの大出力を実現してい

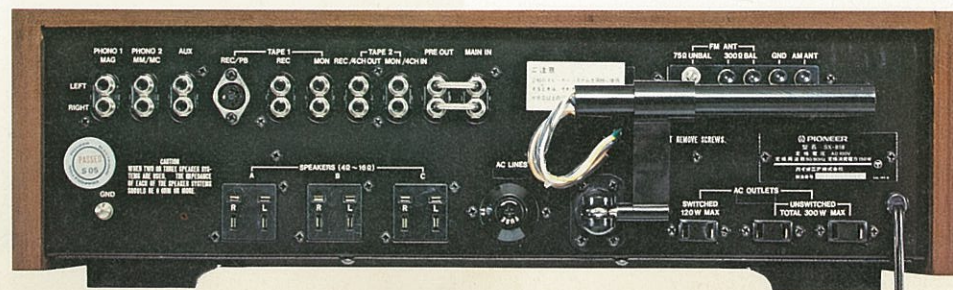
ます。しかも差動アンプを2段採用し大量の負帰還をかけて、温度変化に対しても高い安定度を得ています。

●パワーリレーと電子回路を組合せた保護回路は、検知速度が速く動作が確実で、スピーカーやトランジスターをアクシデントから守ります。

●イコライザーアンプは3段直結のE-E帰還型。RIAA偏差を最小限に抑え、最大許容入力には十分に大きくとっています。

●AMチューナーは3連バリコンを使った同調型RF増幅と、IF部にIC、セラミックフィルターを使用。感度、選択度、混信排除能力がすぐれています。

●ワンタッチで-20dBの音量減衰ができるオーディオミュートング●プリパワー分割端子●ハイ/ローフィルター●明暗2段切換えダイヤル照明●同調点を正確にとらえる2チューニングメーター。



SX-818の規格

〔使用半導体〕	FET.....6
	IC.....4
	トランジスター.....57
	ダイオード他.....38

〔パワーアンプ部〕

回路方式.....差動2段全段直結純コンプリメンタリーOCL

実効出力(20~20,000Hz,両ch駆動) 55W+55W(8Ω), 65W+65W(4Ω)(1kHz,両ch駆動).....60W+60W(8Ω), 75W+75W(4Ω)

高調波歪率(実効出力時).....0.3%以下

混変調歪率(実効出力時).....0.3%以下

出力帯域幅(IHF,両ch駆動).....5~40,000Hz(歪率0.3%)

周波数特性.....5~80,000Hz+0dB,-1dB

入力端子(感度/インピーダンス)

POWER AMP IN.....500mV/50kΩ

出力端子 SPEAKER.....A, B, C, A+B, A+C

HEAD PHONES.....4~16Ω

ダンピングファクター(1kHz,8Ω)40以上

S/N(IHF,ショートサーキットAネットワーク).....95dB以上

〔プリアンプ部〕

回路方式 イコライザーアンプ...3段直結NF型

コントロールアンプ...初段FET NF型

入力端子(感度/インピーダンス)

PHONO1.....2.7mV/50kΩ

PHONO2, MM, MC.....2.7mV/50kΩ, 115μV/30Ω

(MC用入力トランスPP-402使用)

PHONO最大許容入力(rms/p-p)130mV/360mV

MIC.....2.6mV/50kΩ

AUX TAPE MON1,2.....200mV/100kΩ

TAPE MON1(DIN端子).....200mV/100kΩ

出力端子(レベル/インピーダンス)

TAPE REC1,2.....200mV

TAPE REC1(DIN端子).....35mV/85kΩ

PRE OUT.....500mV/300Ω

周波数特性PHONO(RIAA偏差) 30~15,000Hz±1dB

トーンコントロールBASS.....±10dB(100Hz)

TREBLE.....±10dB(10kHz)

フィルターLOW.....60Hz(12dB/oct)

HIGH.....6kHz(12dB/oct)

ラウドネスコンタ(ボリウム-40dB時)

.....+10dB(100Hz),+6dB(10kHz)

S/N(IHF,ショートサーキットAネットワーク)

PHONO.....80dB以上

AUX, TAPE MON.....90dB以上

ミュートング.....-20dB

〔FMチューナー部〕

実用感度(IHF).....1.8μV

キャプチャレシオ(IHF).....1dB

実効選択度(IHF).....80dB

S/N.....70dB

高調波歪率ステレオ.....0.4%以下

周波数特性ステレオ.....20~15,000Hz+0.2dB,-2.0dB

.....50~10,000Hz+0.2dB,-0.5dB

ステレオセパレーション1kHz.....40dB以上

〔AMチューナー部〕

実用感度(IHF).....15μV

選択度.....40dB

S/N.....50dB

〔電源部その他〕

消費電力.....150w(定格), 370W(最大)

外形寸法.....485(W)×150(H)×375(D)mm

重量.....14.8kg

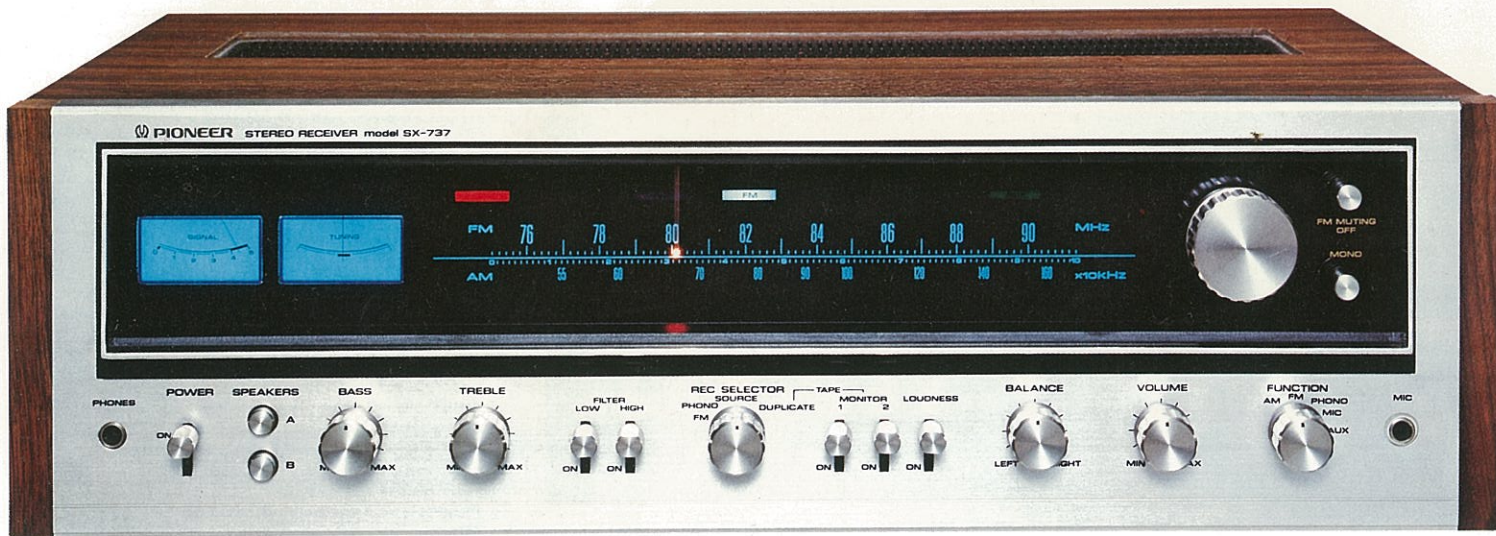
ステレオレシーバー
全段直結純コンOCL/PLL方式

SX-737

¥85,000

FM MPX回路にPLLを採用。パワー部は全段直結純コンOCL方式。実効出力35W + 35W (20~20,000Hz, 両ch駆動, 8Ω, 歪率0.5%以下)

最新の回路構成が生む低歪率、ハイパワーの迫力。



SX-737は最新の回路技術をふんだんに盛りこんだ高級レシーバーです。好評TX-910でPLLをいち早くFM MPX部に取り入れ話題を投じたパイオニアの技術がさらに磨きあげられ、SX-737に導入されました。パワー部に採用した純コンOCL回路とあいまって、理想的な回路構成のレシーバー誕生。音質を重視した設計思想が、すみずみまでゆきとどいています。

また、FMはもとより、レコード、テープなどオーディオテクニックをアクティブに展開する多くの機能も搭載しています。高級感あふれる外観、操作性がよく使いやすいパネルレイアウト、単体のチューナー、プリメインと互角にわたりあう高性能ぶりです。

FM MPX回路に安定性の次元を変えた<PLL>を採用。

FM MPX回路には、従来のL-Cから構成される同調方式を廃し、IC化された<PLL>(フェイズ・ロック・ループ)を採用しています。このPLLは半導体回路のサーボ機構により、自動的に正確な動

作機能を維持する方式で、温度や湿度変化、経時変化などの心配が無く、常に安定した歪率、セパレーション特性が保てます。

デュアルゲートMOS FETと4連バリコンを組合せた高感度FMフロントエンド。

チューナーの性能を決定づけるフロントエンド部にここに低雑音デュアルゲートMOS型FETと周波数直線型4連バリコンを組合せ使用し、妨害電波の影響を抑え実用感度も1.9μVと高感度です。また、スプリアス妨害比、イメージ妨害比、クロスモジュレーションなどの混信排除能力が大幅に向上しています。

●FM IF部は専用開発の高集積度ICによる5段リミッター。どんな入力レベルでも安定性が高く、リミッター特性が抜群。フィルター素子にフェイズリアセラミックフィルターを採用。低歪ですぐれた実効選択度を実現。

●AMチューナー部に専用に開発した高集積度ICを採用。AM放送をきれいにキャッチします。

全音域にわたり低歪率、大出力の差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCLのパワーアンプ。

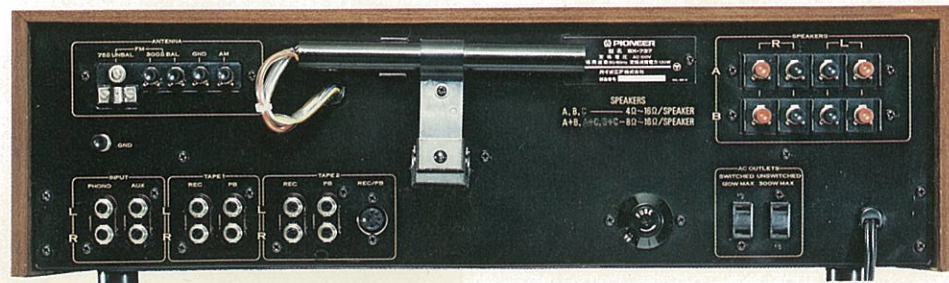
大きな温度変化にも出力点のゼロ電位が維持できるように、初段に直流安定度を十分にとったバイアスの温度補償回路を採用しています。差動1段全段直結純コンプリメンタリー回路は、全音域にわたって低歪率、ハイパワーを実現。特に超低域までパワーが直線的に伸びています。また、大型放熱器と特性のそろったペアのパワートランジスター採用。実効出力35W + 35W (20~20,000Hz, 両ch駆動、8Ω、歪率0.5%以下)と、安定したハイパワーが得られます。

レコードを聴きながらFMが、FMを聴きながらレコード演奏が自在に録音できる録音セレクトター。

SX-737はテープからテープへのデュプリケートはもとより、お好きなレコードを聴きながらFM放送が録れる録音セレクトターがついています。チャンスを逃がさず一台2役の機構が果せませす。

●トーンコントロール回路は、トランジスター3石による2段直結NF型。フラットポジションでうねりが少ない素直な特性です。

●パワーリレーと電子回路を組合せた本格的な保護回路。アクシデントからスピーカーやパワートランジスターを完全に守ります。



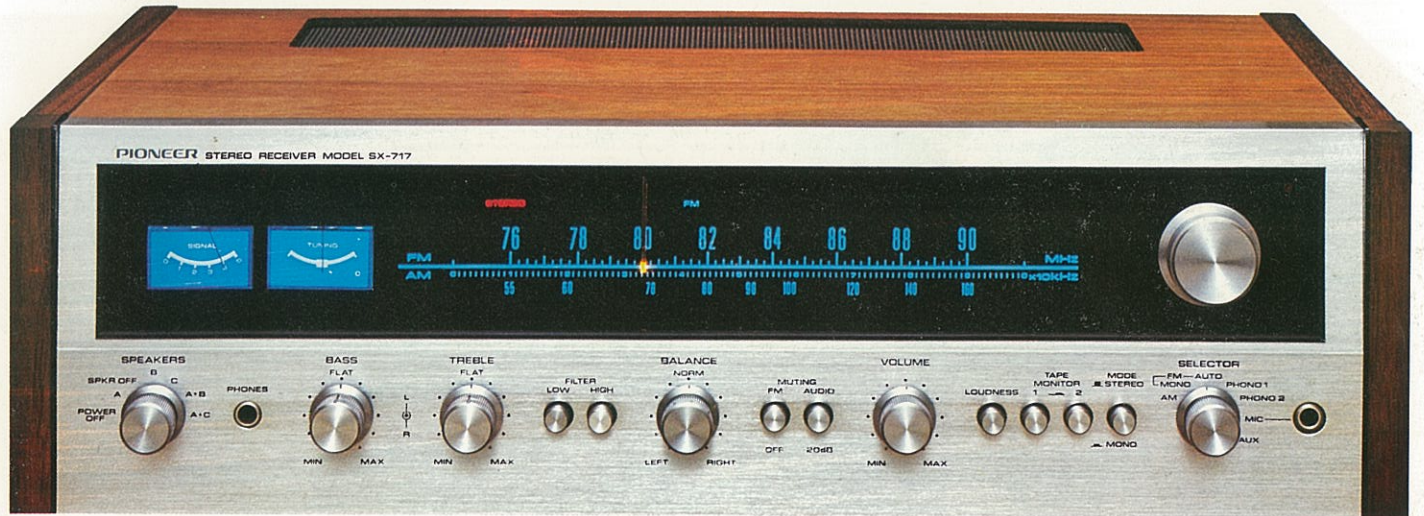
SX-737の規格

(使用半導体)	FET.....1 IC.....3 トランジスタ.....46 ダイオード他.....22
(アンプ部)	
回路方式	差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL
実効出力(20~20,000Hz, 両ch駆動)	35W+35W(8Ω), 40W+40W(4Ω) (1kHz, 両ch駆動).....40W+40W(8Ω), 50W+50W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時)	0.5%以下 (1W出力時).....0.05%以下
混変調歪率(実効出力時)	0.5%以下 (1W出力時).....0.05%以下
出力帯域幅(IHF, 両ch駆動)	5~60,000Hz(歪率0.5%)
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω)	40
残留雑音(8Ω, プリ+パワーアンプ)	0.5mV以下
入力端子(感度/インピーダンス)	
PHONO	2.5mV/50kΩ
PHONO最大許容入力(rms/p-p)	170mV/480mV
MIC	2.5mV/50kΩ
AUX	150mV/50kΩ
TAPE PB1, 2	150mV/50kΩ
TAPE PB2(DIN端子)	150mV/50kΩ
出力端子(レベル/インピーダンス)	
TAPE REC1, 2	150mV
TAPE REC2(DIN端子)	30mV/80kΩ
SPEAKER	A, B, A+B, X4~16Ω
HEAD PHONE	4~16Ω
周波数特性	
PHONO(RIAA偏差)	30~15,000Hz±0.3dB
AUX, TAPE PB	15~40,000Hz+0.5~-1dB
トーンコントロール	
BASS	±10dB(100Hz)
TREBLE	±10dB(10kHz)
フィルターLOW	-9dB(50Hz), 6dB/oct
HIGH	-9dB(10kHz), 6dB/oct
ラウンドネスコンター	+8dB(100Hz), +3dB(10kHz)
S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)	70dB以上
PHONO	70dB以上
MIC	65dB以上
AUX, TAPE PB	95dB以上
(FMチューナー部)	
実用感度(IHF)	1.9μV
キャプチュアレシオ(IHF)	1.0dB
実効選択度(IHF)	60dB
S/N	70dB
イメージ妨害比(82MHz)	85dB以上
IF妨害比(82MHz)	100dB以上
スプリアス妨害比	100dB以上
AM抑圧比	55dB
高調波歪率 モノ	0.2%以下
ステレオ	0.4%以下
周波数特性 ステレオ	20~15,000Hz, +0.2dB~-2.0dB 50~10,000Hz, +0.2dB~-0.5dB
ステレオセパレーション1kHz	40dB以上 50~10,000Hz.....30dB以上
キャリアリーク抑圧比	40dB
アンテナ	300Ω平衡型, 75Ω不平衡型
ミュート	ON-OFF
(AMチューナー部)	
実用感度(IHF, パーアンテナ)	300μV/m
実用感度(IHF)	15μV
選択度	35dB
S/N	50dB
イメージ妨害比	40dB以上
IF妨害比	70dB以上
アンテナ	フェライトパーアンテナ
(電源部その他)	
消費電力	120W(定格), 280W(最大)
外形寸法	500(W)×158(H)×410(D)mm
重量	12.9kg

ステレオレシーバー

SX-717

¥84,000



SX-717は高感度、高選択度チューナーとハイパワーアンプを、それぞれ単体性能を追求し完成した高性能レシーバーです。FMチューナーに低雑音FET採用のフロントエンド、ICとセラミックフィルターで構成されたIF部。高感度、高選択度特性を実現しました。パワー部は全段直結純コンプリメンタリーOCL方式。性能を重視した回路の充実をはかり、とくに雑音指数のすぐれたFETを要所にとり入れ、音質の向上には気を配っています。実効出力はアンプにとって最も厳しい測定基準といわれる20~20,000Hz、両ch駆動で37W+37W(8Ω, 歪率0.5%以下)と、ダイナミックレンジの広いソースを余裕をもって再生するハイパワー仕様です。

- 4連バリコンとFETを組合せたRF2段増幅の高感度フロントエンド。
- 専用ICとセラミックフィルターを組合せ、シャープな選択度特性が得られるFM IF部。
- AMチューナーにはフォワードAGC回路を採用。安定した受信を約束します。
- 初段にFETを使用した3段直結NF型トーンコントロール回路。

FET使用高感度チューナーと全段直結純コンOCL方式のパワー部。実効出力37W+37W(20~20,000Hz, 両ch駆動, 8Ω, 歪率0.5%以下)

きめ細かい解像力、豊かで澄みきった音。

- 全音域にわたり低歪率、大出力を実現した全段直結純コンプリメンタリーOCLのパワーアンプ。
- トラブルから装置を守る万全の自動復帰型保護回路。
- ボタンを押すだけで瞬間的に-20dBの減衰ができるオーディオミュート回路。
- 2組のPHONO, TAPE端子と3組のスピーカーが切換え使用できる豊富な入出力端子つき。
- 不快な局間ノイズをカットするFMミュートング
- 同調点が正しく選べる2チューニングメーター
- プリ/パワー分割端子
- ハイ/ローフィルター
- ラウンドネスコンター
- マイク、ヘッドホンジャック。

SX-717の規格

(使用半導体)	FET.....4 IC.....4 トランジスタ.....55 ダイオード他.....34
(パワーアンプ部)	
回路方式	全段直結純コンプリメンタリーOCL方式
実効出力(20~20,000Hz両ch駆動)	37W+37W(8Ω, 歪率0.5%以下)
高調波歪率(実効出力時)	0.5%以下
混変調歪率(実効出力時)	0.5%以下
出力帯域幅(IHF, 両ch駆動)	10~60,000Hz
周波数特性	7~80,000Hz±1dB
入力端子	POWER AMP IN
出力端子	SPEAKER(A, B, C, A+B, A+C) HEAD PHONES
ダンピングファクター	40以上(1kHz, 8Ω)
(リアンプ部)	
入力端子	PHONO1, 2, MIC, AUX, TAPE MON1, 2
出力端子	TAPE REC1, 2, TAPE REC1 (DIN) PRE OUT
高調波歪率(20~20,000Hz)	0.1%以下
周波数特性	10~20,000Hz±1dB
トーンコントロール	BASS, TREBLE
フィルター	LOW, HIGH
ミュート	-20dB
S/N(IHF, ショートサーキットAネットワーク)	PHONO: 85dB以上 AUX: 95dB以上
(FMチューナー部)	
実用感度(IHF)	1.8μV
キャプチュアレシオ(IHF)	2.0dB
実効選択度(IHF)	70dB以上
S/N	70dB以上
イメージ妨害比(82MHz)	90dB以上
IF妨害比(78MHz)	100dB以上
スプリアス妨害比(82MHz)	90dB以上
AM抑圧比	50dB
高調波歪率(ステレオ)	0.5%以下
ステレオセパレーション	40dB以上(1kHz)
キャリアリーク抑圧比	50dB以上
ミュート	ON-OFF
(AMチューナー部)	
実用感度(IHF)	10μV
選択度	35dB以上(1000kHz)
S/N	50dB(30%変調)
イメージ妨害比	80dB以上(1000kHz)
IF妨害比	75dB以上
(電源部その他)	
消費電力	100W(定格), 270W(最大)
外形寸法	485(W)×150(H)×390(D)mm
重量	14kg

ステレオレシーバー
全段直結純コンOCL/PLL方式

SX-636

¥68,000

FM MPX回路にPLLを採用。パワー部は全段直結純コンOCL方式。実効出力25W+25W(20~20,000Hz, 両ch駆動, 8Ω, 歪率0.5%以下)

最新の回路構成、すぐれた物理特性が生む冴えた音質。



SX-636はレシーバー本来の利点である一体化された使いやすさ、合理性から生まれるコストパフォーマンスの高さに加え、PLL、全段直結純コンOCLの採用など、新しい回路技術をフルに投入しています。音質重視の設計思想はもとより、安全性と信頼性が一段と向上し、性能面がいちじるしく充実しました。レシーバーはビギナーのものといわれた言葉もいまでは過去のもの。単体チューナー、プリメインに肩をならべるSX-636の高性能ぶりをごらんください。

〈PLL〉をMPX部に採用。性能がいちじるしく安定しています。

MPX回路に従来のLやCの組合せからなる同調方式を廃し、IC化した〈PLL〉を採用。経時変化、環境変化による性能の劣化がまったくありません。また復調時におきる歪も最少におさえられ、高域のセパレーションが良く、すぐれた初期性能を常に最良の状態でご保ちます。

●厳選した低雑音FETと周波数直線型3連バリコンによるRF1段つきFMフロントエンド。1.9μV

の高感度で、強電界地域でも安定した受信ができます。

●FM専用的高集積度ICを採用した5段リミッター構成で歪率と混信排除能力が抜群のFM IF部。どんな入力レベルでも安定した特性を得ています。直線性が良く歪の少ないクォドラチュア検波方式の採用と、フェイズリニアセラミックフィルターの使用で広帯域にわたり低歪率、MPXセパレーションも高域まですぐれています。

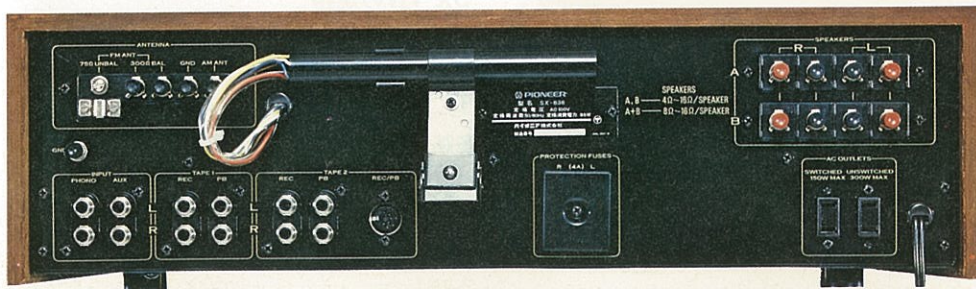
●厳選した低雑音トランジスター、抵抗、スチロールコンデンサーを組合せた2段直結イコライザーアンプ。S/N、安定性がすぐれています。とくにRIAAカーブの精度が30~15,000Hzの帯域で±

0.5dB以内と高い精度を得ています。

●ベア特性のそろったPNP、NPN型トランジスターの採用で、高性能を発揮する差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL方式のパワーアンプ。全音域にわたり低歪化、ハイパワー化を実現しています。

●アクシデントからスピーカー、トランジスターを守る保護回路。

●局間ノイズを追放するFM ミューティング●選局しやすい2チューニングメーター●高域のノイズをとりさるハイカットフィルター●ラウドネスコンター●TAPE MON 2系統、スピーカーA、B 2組使用可能●マイク、ヘッドホンジャック



SX-636の規格

(使用半導体)	FET.....1
	IC.....3
	トランジスター.....33
	ダイオード他.....17

〔アンプ部〕
回路方式.....差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL

実効出力(20~20,000Hz, 両ch駆動).....25W+25W(8Ω), 27W+27W(4Ω)(1kHz, 両ch駆動).....27W+27W(8Ω), 30W+30W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時).....0.5%以下
混変調歪率(実効出力時).....0.5%以下
出力帯域幅(IHF, 両ch駆動).....5~60,000Hz(歪率0.5%)
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω)35
残留雑音(8Ω, プリ+パワーアンプ) 0.5mV以下
入力端子(感度/インピーダンス)

PHONO.....2.5mV/50kΩ
PHONO最大許容入力(rms/p-p) 110mV/310mV
MIC.....7mV/85kΩ
AUX TAPE PB1, 2.....150mV/60kΩ
TAPE PB2(DIN端子).....150mV/60kΩ
出力端子(レベル/インピーダンス)
TAPE REC 1, 2.....150mV
TAPE REC2(DIN端子).....30mV/80kΩ
SPEAKER.....A, B, A+B(4~16Ω)
HEAD PHONE.....4~16Ω

周波数特性
PHONO(RIAA偏差).....30~15,000Hz, ±0.5dB
AUX, TAPE PB.....20~30,000Hz, +0.5dB, -1dB
トーンコントロール BASS.....±10dB(100Hz)
TREBLE.....±10dB(10kHz)
フィルター-HIGH.....-9dB(10kHz), 6dB/oct
ラウドネスコンター.....+9dB(100Hz), +5dB(10kHz)
S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)
PHONO.....70dB以上
MIC.....65dB以上
AUX, TAPE PB.....90dB以上

〔FMチューナー部〕
実用感度(IHF).....1.9μV
キャプチャレシオ(IHF).....1.0dB
実効選択度(IHF).....60dB
S/N.....70dB
イメージ妨害比(82MHz).....60dB以上
IF妨害比(82MHz).....90dB以上
スプリアス妨害比.....75dB以上
高調波歪率 ステレオ.....0.4%以下
周波数特性ステレオ.....20~15,000Hz+0.2dB, -2.0dB
50~10,000Hz.....30dB以上
ステレオセパレーション 1kHz.....40dB以上
50~10,000Hz.....30dB以上

キャリアリク抑圧比.....40dB
アンテナ.....300Ω平衡型, 75Ω不平衡型
ミューティング.....ON-OFF

〔AMチューナー部〕
実用感度(IHF, ノーアンテナ).....300μV/m
実用感度(IHF).....15μV
選択度.....35dB
S/N.....50dB
イメージ妨害比.....40dB以上
IF妨害比.....70dB以上
アンテナ.....フェライトバーアンテナ

〔電源部その他〕
消費電力.....85W(定格), 220W(最大)
外形寸法.....480(W)×147(H)×405(D)mm
重量.....10.7kg

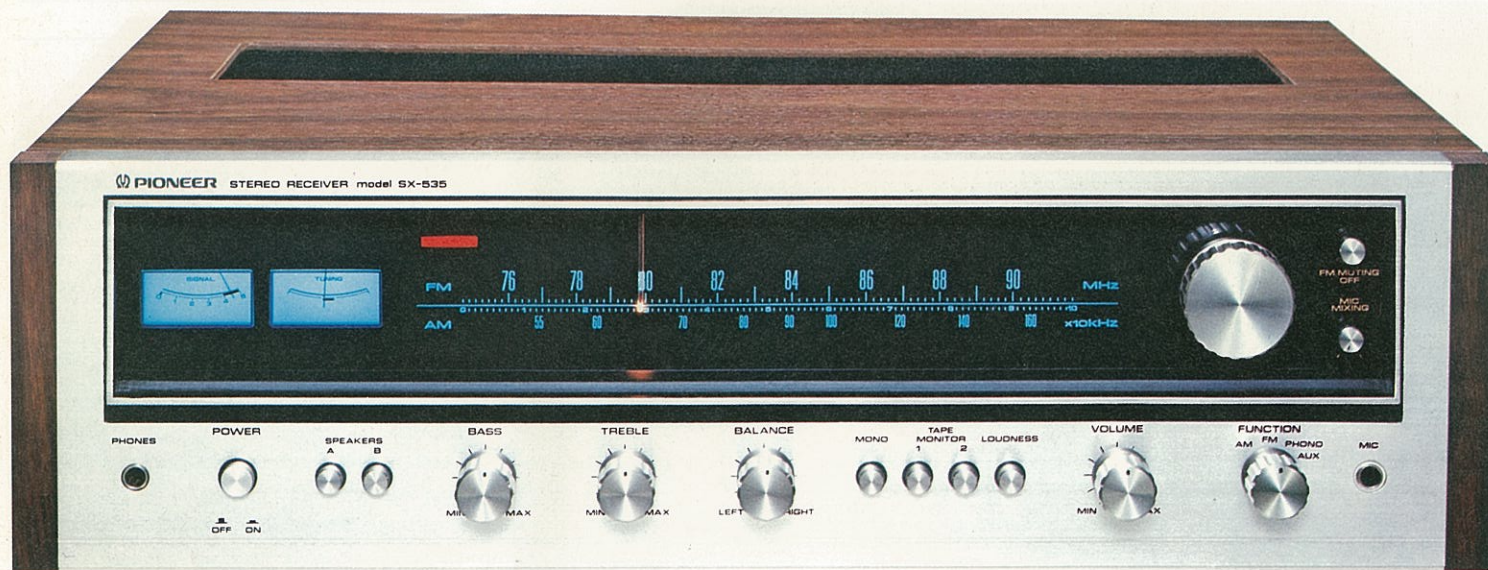
ステレオレシーバー
全段直結純コンOCL/PLL方式

SX-535

¥57,000

FM MPX回路にPLLを採用。パワー部は全段直結純コンOCL方式。実効出力20W+20W(40~20,000Hz, 8Ω, 歪率0.8%以下) マイクミキシング回路つき。

音質重視の設計思想から最新の回路技術をふんだんに採用。



SX-535はMPX部にPLL採用の高性能チューナーと全段直結純コンプリメンタリーOCLアンプを組合せたハイコストパフォーマンスなレシーバーです。音質を追求する目的から最新の回路技術をふんだんにとり入れ、高い完成度をあらわしています。また楽しいプレイ機能をもつマイクミキシング回路も内蔵。すぐれた基本性能に加えて応用機能も充実し、ひとまわり大きなオーディオプランが組みあげられます。

〈PLL〉をMPX部に採用。安定した高性能が持続します。

MPX部に経時変化、環境変化による性能劣化の心配がない〈PLL〉回路を採用、歪率やセパレーション特性は常に安定した最良の状態が得られます。

低歪率で抜群の混信排除能力を発揮するFM IF部。IF部はFM専用の高集積度ICを採用したリミッター5段の構成、選択素子にフェイズリニアセラミックフィルターを採用。安定したリミッター特性

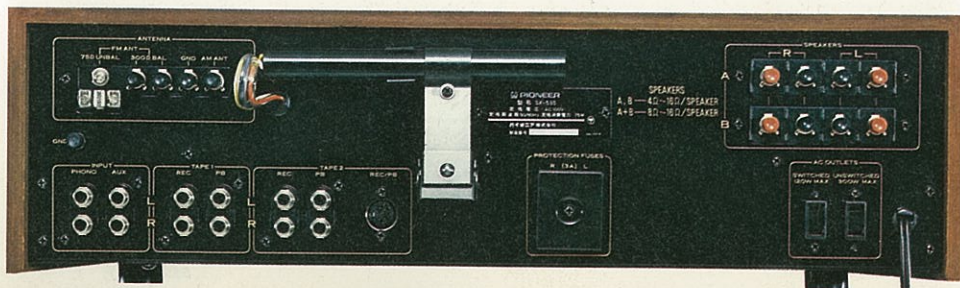
と広帯域にわたり低歪ですぐれたMPXセパレーションをもっています。

- 1.9μVの高感度で、強電界地域でも安定した受信ができる、FETと周波数直線型3連バリコン使用RF増幅1段付FMフロントエンド。
- 低雑音トランジスターと低雑音抵抗、ステロールコンデンサーによるイコライザーアンプ。RIAAカーブ偏差は30~15,000Hzの帯域で±0.5dBと高精度です。

- ドライバー、パワートランジスターはペアPNP、

NPN型、差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL方式のすぐれた特性を実現しています。

- アクシデントからスピーカー、トランジスターを守る保護回路つき。
- お好きな歌手や楽団と共に歌い、録音も可能なマイクミキシング回路内蔵。
- 局間ノイズを追放するFMミュートイング●選局しやすい2チューニングメーター●ラウドネスコンター●ステレオ/モノ切替モードスイッチ●マイク、ヘッドホンジャック●TAPE MON 2系統、スピーカーA、B 2組使用可能。



SX-535の規格

〔使用半導体〕	FET.....1
	IC.....3
	トランジスター.....32
	ダイオード他.....14

〔アンプ部〕
回路方式.....差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL

実効出力(40~20,000Hz, 両ch駆動) 20W+20W(8Ω), 22W+22W(4Ω)(1kHz, 両ch駆動).....22W+22W(8Ω), 25W+25W(4Ω)

高調波歪率(実効出力時).....0.8%以下

混変調歪率(実効出力時).....0.8%以下

出力帯域幅(IHF, 両ch駆動).....10~60,000Hz(歪率0.8%)

ダンピングファクター(1kHz, 8Ω)30以上

残留雑音(8Ω, プリ+パワーアンプ)0.5mV以下

入力端子(感度/インピーダンス)

PHONO.....2.5mV/50kΩ

PHONO最大許容入力(rms/p-p) 110mV/310mV

MIC.....10mV/50kΩ

AUX TAPE PB1, 2.....150mV/75kΩ

TAPE PB2(DIN端子).....150mV/75kΩ

出力端子(レベル/インピーダンス)

TAPE REC1, 2.....150mV

TAPE REC2(DIN端子).....30mV/80kΩ

SPEAKER.....A, B, A+B(4~16Ω)

HEAD PHONE.....4~16Ω

周波数特性

PHONO(RIAA偏差).....30~15,000Hz±0.5dB

AUX, TAPE PB.....20~30,000Hz±1dB

トーンコントロール BASS.....+9dB, -8dB(100Hz)

TREBLE.....+5dB, -7dB(10kHz)

ラウドネスコンター.....+10dB(100Hz), +5dB(10kHz)

S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)

PHONO.....70dB以上

MIC.....70dB以上

AUX, TAPE PB.....90dB以上

〔FMチューナー部〕

実用感度(IHF).....1.9μV

キャプチャレシオ(IHF).....1.0dB

実効選抜度(IHF).....60dB

S/N.....70dB

イメージ妨害比(82MHz).....60dB以上

IF妨害比(82MHz).....90dB以上

スプリアス妨害比.....75dB以上

高調波歪率 ステレオ.....0.4%以下

周波数特性 ステレオ.....20~15,000Hz, +0.2dB~-2.0dB

50~10,000Hz, +0.2dB~-0.5dB

ステレオセパレーション

1kHz.....40dB以上

50~10,000Hz.....30dB以上

キャリアリーク抑圧比.....40dB

アンテナ.....300Ω平衡型, 75Ω不平衡型

ミュートイング.....ON-OFF

〔AMチューナー部〕

実用感度(IHF, パーアンテナ).....300μV/m

実用感度(IHF).....15μV

選抜度.....35dB

S/N.....50dB

イメージ妨害比.....40dB以上

アンテナ.....フェライトバーアンテナ

〔電源部その他〕

消費電力.....75W(定格), 180W(最大)

外形寸法.....480(W)×147(H)×405(D)mm

重量.....9.9kg

ステレオレシーバー

SX-434

¥50,000

高集積度IC採用のチューナー部。パワーアンプは全段直結純コンOCL方式。実効出力15W + 15W (40~20,000Hz, 両ch駆動, 8Ω, 歪率0.8%以下)

高い性能に加えてオーディオの楽しさを広げるマイクミキシング回路つき。



SX-434の規格

〔使用半導体〕	FET……………1 IC……………3 トランジスター……………30 ダイオード他……………13
〔パワーアンプ部〕	回路方式……………差動1段全段直結純コンプリメンタリーOCL 実効出力(40~20,000Hz, 両ch駆動)……………15W+15W(8Ω), 15W+15W(4Ω)(1kHz, 両ch駆動)……………16W+16W(8Ω), 18W+18W(4Ω) 高調波歪率(実効出力時)……………0.8%以下 出力帯域幅(IHF, 両ch駆動)……………10~70,000Hz(歪率0.8%) 出力端子 SPEAKER……………A, B, A+B(4~16Ω) HEAD PHONE……………4~16Ω
〔プリアンプ部〕	入力端子(感度/インピーダンス) PHONO……………2.5mV/50kΩ PHONO最大許容入力(rms/p-p)100mV/280mV MIC……………10mV/60kΩ AUX TAPE PB……………150mV/80kΩ TAPE PB(DIN端子)……………150mV/80kΩ 出力端子(レベル/インピーダンス) TAPE REC……………150mV 周波数特性 PHONO(RIAA偏差)……………30~15,000Hz±1dB MIC, AUX, TAPE PB……………30~25,000Hz±1dB トーンコントロールBASS……………+9dB, -8dB(100Hz) TREBLE……………+5dB, -7dB(10kHz) S/N(IHFショートサーキットAネットワーク) PHONO……………70dB以上 MIC……………70dB以上 AUX, TAPE PB……………90dB以上
〔FMチューナー部〕	実用感度(IHF)……………1.9μV キャプチャレシオ(IHF)……………1.5dB 実効選択度(IHF)……………60dB S/N……………70dB 高調波歪率ステレオ……………0.4%以下 周波数特性ステレオ……………20~15,000Hz+0.2dB, -2.0dB 50~10,000Hz+0.2dB, -0.5dB
ステレオセパレーション	1kHz……………40dB以上 50~10,000Hz……………30dB以上
アンテナ……………	300Ω平衡型, 75Ω不平衡型
ミュート……………	ON-OFF
〔AMチューナー〕	実用感度(IHFフェーダーアンテナ)……………300μV/m 実用感度(IHF)……………15μV 選択度……………35dB S/N……………50dB アンテナ……………フェライトバーアンテナ
〔電源部その他〕	消費電力……………60W(定格), 110W(最大) 外形寸法……………430(W)×140(H)×347(D)mm 重量……………8.1kg

SX-434はチューナー部、プリアンプ部に最新の回路技術を導入し、性能に重点を置いたハイコストパフォーマンスレシーバーです。FM実用感度(IHF)1.9μV、実効選択度(IHF)60dB、キャプチャレシオ(IHF)1.5dBなど、単体の高級チューナーなみの性能を実現したチューナー部に全段直結純コンプリメンタリーOCL方式を採用したパワー部を組合せ、すぐれた物理特性に裏付けられた音楽性あふれる音質を得ています。また、好みの音楽に参加できるマイクミキシング回路を内蔵しています。

ットするFMミュートスイッチ。正しい同調ポイントが手際よく選べる大型センターチューニングメーターにより、FM電波のクオリティを確実にキャッチします。

音質を重視した全段直結純コンプリメンタリーOCLアンプの採用。

イコライザーアンプは正確なRIAA偏差をもつ2段直結型、レコードの原音を忠実に再現します。パワーアンプは音質重視の設計思想から純コンOCL回路を採用。全音域にわたって低歪率で、ダイナ

ミックレンジの広いソースをパワフルに再生します。

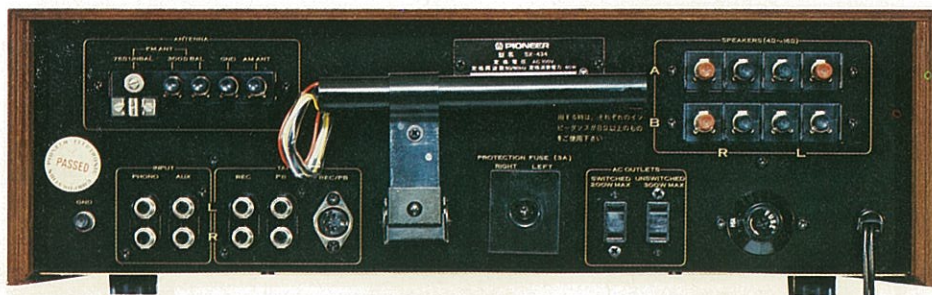
●好みの演奏に参加するマイクミキシング回路を内蔵。レコード、FMなど、お好みのプログラムソースとマイクで歌ったりディスクジョッキーができます。またミキシングした音楽の録音も可能です。

●小音量再生時でも迫力ある音が楽しめるラウドネスコンター●A, B 2系統のスピーカー端子●ステレオ/モノ切換え用モードスイッチ●マイク、ヘッドホンジャック。

FM放送のクオリティを確実にキャッチする本格的な回路構成のFMチューナー部。

FMフロントエンドに低雑音FETと3連バリコン、IF部には高集積度ICとセラミックフィルターを採用しました。厳選されたパーツと、本格的な回路構成により、実用感度は1.9μV、低歪率で高S/N混信排除能力にすぐれています。

また、FM選局時の不快な局間ノイズを効果的にカ



ホワイトオーク調仕上げステレオレシーバー SX-434D ¥50,000
規格はSX-434と同一です

ステレオレシーバー

SX-300

¥36,500

高感度チューナーと厳選されたトランジスターで構成されたプリメインアンプの組合せ。
7W+7W(1kHz, 両ch駆動, 8Ω, 歪率1%以下)

ひとクラス上の高感度チューナーと余裕あるアンプの組合せ。



SX-300はコンポーネントの魅力をもっともシンプルな形で具体化したステレオレシーバーです。ひとクラス上の性能をもつチューナー部と、十分なパワーをもつプリメインアンプを一体にしたすぐれた性能に加えて、使いやすさ、手頃な価格、スペースファクターなど、大きな魅力をそなえています。これからオーディオを楽しもうとするビギナーにも、またマニアのサブシステムとしても、うってつけ。コンポーネントの音楽性を手軽に楽しんでもいただけます。

フロントエンドに厳選したFETを使用、高性能チューナー部。

フロントエンドは、歪を最少におさえ雑音を追放する目的から、厳選したFETを使用しています。混信排除能力にすぐれ、安定した高感度な受信能力は、FMの音質をいっそう豊かなものにしてます。

正確な同調点が選べる大型チューニングメーターとワイドなダイヤルスケール。

ダイヤル面はとくに大きくとった設計で見やすく、

FMスケールは読みとりが楽なりニアスケール。大型のチューニングメーターの採用で、選局が確実です。

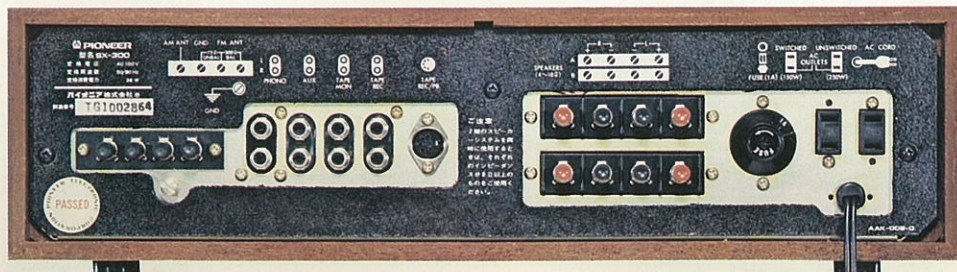
歪が少なく正確なコントロールができるプリアンプ部。

イコライザーアンプは2段直結N F型回路で、RIAA偏差は±1dBに抑えられています。またトーンコントロールは、BASS, TREBLEともに調整範囲が広く、使用するスピーカーや部屋の音響特性に合わせて自在にコントロールができます。

十分なパワーと低歪率設計のパワーアンプ部。

実効出力は両ch駆動で7W+7W(歪率1%以下)。片ch駆動時では10W/10W(8Ω)と十分なパワーです。迫力ある低音から繊細な高音まで、バランスよくゆとりをもって再生します。

●小音量時でも迫力ある音が楽しめるラウドネスコンター ●A, B 2組のスピーカー端子 ●ヘッドホンジャック ●ステレオ/モノ切換え用モードスイッチ



SX-300の規格

(使用半導体) FET.....1
トランジスター.....31
ダイオード他.....23

(パワーアンプ部)
実効出力(1kHz, 両ch駆動).....7W+7W(8Ω), 7W+7W(4Ω)
(1kHz, 片ch駆動).....10W/10W(8Ω), 12W/12W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時).....1%以下
(1W出力時).....0.2%以下
混変調歪率(実効出力時).....1%以下
(1W出力時).....0.5%以下

出力帯域幅(IHF, 両ch駆動).....25~60,000Hz(歪率1%)
出力端子 SPEAKER.....A, B, A+B
HEAD PHONE.....4~16Ω
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω).....20以上
残留雑音(8Ω, プリ+パワーアンプ).....0.6mV以下

[プリアンプ部]
入力端子(感度/インピーダンス)
PHONO.....2.5mV/50kΩ
AUX.....150mV/100kΩ
TAPE MON.....150mV/100kΩ
TAPE MON(DIN端子).....150mV/100kΩ
出力端子(レベル/インピーダンス)
TAPE REC.....150mV
TAPE REC(DIN端子).....30mV/80kΩ
周波数特性 PHONO(RIAA偏差)30~15,000Hz±1dB
AUX, TAPE MON 30~20,000Hz±1dB

トーンコントロール BASS.....+9dB, -9dB(100Hz)
TREBLE +8dB, -11dB(10kHz)

ラウドネスコンター(ボリューム40dB時)+10dB(100Hz), +5dB(10kHz)
S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)
PHONO.....70dB以上
AUX, TAPE MON.....80dB以上

[FMチューナー部]
実用感度(IHF).....2.3μV
キャプチャレシオ.....3.5dB
S/N.....65dB
イメージ妨害比(82MHz).....55dB以上
IF妨害比(82MHz).....80dB以上
スプリアス妨害比.....70dB以上
AM抑圧比.....45dB
高調波歪率 モノ.....0.6%以下
ステレオ.....0.8%以下
ステレオセパレーション 1kHz.....40dB以上
キャリアリーク抑圧比.....35dB
アンテナ.....300Ω平衡型, 75Ω不平衡型

[AMチューナー部]
実用感度(IHF, 1μVアンテナ).....300μV/m
実用感度(IHF).....15μV
S/N.....50dB
イメージ妨害比.....45dB以上
IF妨害比.....35dB以上
アンテナ.....フェライトバーアンテナ

[電源部その他]
消費電力.....36W(定格), 65W(最大)
外形寸法.....441(W)×132(H)×324(D)mm
重量.....6kg

4チャンネルレシーバー

QX-704

¥155,000

低歪率、ハイパワーの全段直結純コンプリメンタリー-OCL回路採用。実効出力20W×4(20~20,000Hz, 4ch駆動, 8Ω, 歪率0.5%以下)

CD-4, RM/SQ3方式の4ch再生機能を内蔵、豊かに盛りあがる臨場感。



QX-704はCD-4, RM/SQの3方式の4ch再生回路を内蔵した本格的な4chレシーバーです。各チャンネルの出力レベルが直視できる便利な4chレベルインジケータを採用し、再生時のレベル調整が正確に、かつ簡単にできます。またパワー部は、差動1段全段直結純コンプリメンタリー-OCL回路、4ch駆動時の実効出力は20W×4(20~20,000Hz, 8Ω, 歪率0.5%以下)、音楽性豊かなハイパワー機です。

CD-4, RM, SQ 3方式の4ch再生機能を内蔵。

CD-4ディモジュレーターはPLL回路やFETを駆使して、周波数特性、セパレーションに十分な配慮を施した本格的な設計です。また、長時間の演奏にも、常に最良の状態が維持できるよう、雑音の発生を自動的に補正してS/Nを良くするASC回路を内蔵しています。RM/SQ 4ch再生には、それぞれ専用のデコーダーを内蔵し、RM, SQマトリックスレコードや放送はもちろん、従来の2chソースの再生にも効果的な演奏がお楽しみいただけます。

高性能ですぐれた音質が得られるFMチューナー。周波数直線型4連バリコン、MOS FETを使った

FMフロントエンド部。FM専用的高集積度ICとフェズリニアセラミックフィルターを採用した5段リミッターのIF部。MPX部に採用した専用ICなど、最新の回路技術をふんだんに取り入れ、高い性能を実現しています。

パワーアンプは全段直結純コンプリメンタリー-OCL方式。2ch再生時に出力をアップして使えるユニークなパワーブースティングサーキットを採用。

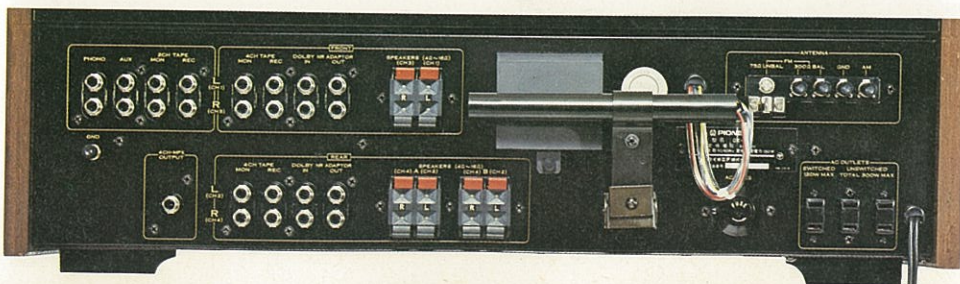
4ch駆動時の実効出力は20~20,000Hzで20W×4(8Ω, 歪率0.5%以下)のハイパワー。2ch使用時にはパワーブースティングサーキットの採用により、同条件で40W+40Wの大出力を生み出します。電源回路には15,000μF×2の大容量電源コンデンサーを採用。低域特性のすぐれたきわめて安定性

のあるパワー部です。

●イコライザーアンプは3段直結型。最小限に抑えられたイコライザー偏差、大きくとった最大許容入力の設定で、レコードの信号を忠実に再生します。

●コントロールアンプはトランジスター3石の構成によるNF型。調整はFRONT, REARのそれぞれが独立してできるため、スピーカーシステムの種類が異なる場合でも、4ch音場をもっとも効果的に再現できます。

●保護回路はパワーリレーと電子回路を組合せた信頼性の高い回路構成。この回路は電源ミュートも兼ねていますから、電源投入時の不快なショックノイズがありません。



QX-704の規格

〔使用半導体〕	FET.....9 IC.....6 トランジスター.....123 ダイオード他.....66
〔パワーアンプ部〕	
回路方式.....	差動1段全段直結純コンプリメンタリー-OCL
実効出力(20~20,000Hz, 4ch駆動).....	20W×4(8Ω), 25W×4(4Ω) (20~20,000Hz, 2ch駆動) 40W+40W(8Ω), 50W+50W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時).....	0.5%以下
混変調歪率(実効出力時).....	0.5%以下
出力帯域幅(IHF, 4ch駆動).....	7~40,000Hz(歪率0.5%)
出力端子 SPEAKER.....	フロント用1組, リア用2組
HEAD PHONE.....	フロント, リア(4~16Ω)
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω).....	35
〔プリアンプ部〕	
入力端子(感度/インピーダンス)	
PHONO.....	2.5mV/50kΩ
PHONO最大許容入力(rms/p-p).....	100mV/280mV
AUX, TAPE MON(2ch, 4ch).....	140mV/100kΩ
出力端子(レベル)	
TAPE REC(2ch, 4ch).....	140mV
周波数特性	
PHONO(RIAA偏差).....	30~15,000Hz±1dB
AUX, TAPE MON.....	10~25,000Hz +0.5dB~-1dB
トーンコントロール BASS.....	±10dB(100Hz)
TREBLE.....	±10dB(10kHz)
ラウドネスコンター(ボリウム-40dB).....	+6dB(100Hz), +3dB(10kHz)
S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)	
PHONO.....	70dB以上
AUX, TAPE MON.....	90dB以上
〔CD-4ディモジュレーター部〕	
入力感度.....	2.5mV(1~5mV可変)
入力インピーダンス.....	100kΩ
歪率.....	0.07%
S/N(IHF Aネットワーク).....	70dB以上
セパレーション(標準信号1kHz印加時)	
LEFT~RIGHT.....	50dB
FRONT~REAR.....	30dB
周波数特性.....	20~15,000Hz
〔FMチューナー部〕	
実用感度(IHF).....	1.9μV
キャプチャレシオ(IHF).....	1dB
実効選択度(IHF).....	60dB
S/N.....	70dB
高調波歪率 ステレオ.....	0.4%以下
周波数特性 ステレオ.....	20~15,000Hz+0.2dB~-2.0dB 50~10,000Hz+0.2dB~-0.5dB
ステレオセパレーション 1kHz.....	40dB以上 50~10,000Hz.....30dB以上
キャリアリーク抑圧比.....	65dB
アンテナ.....	300Ω平衡型, 75Ω不平衡型
ミュートイング.....	ON-OFF
〔AMチューナー部〕	
実用感度(IHF, 棒アンテナ).....	300μV/m
実用感度(IHF).....	15μV
選択度.....	35dB
S/N.....	50dB
アンテナ.....	フェライト棒アンテナ
〔電源部その他〕	
消費電力.....	150W(定格), 340W(最大)
外形寸法.....	550(W)×160(H)×420(D)mm
重量.....	19.1kg

4チャンネルレシーバー

QX-604

¥107,000

3方式(CD-4, RM/SQ)の4ch再生機能を内蔵。実効出力10W×4(1kHz, 4ch駆動, 8Ω, 歪率1%以下)

スイッチひとつで迫力ある4ch音場を再生。



QX-604はレシーバーの持つ合理性をさらに拡大し、CD-4, RM/SQ、3方式の4ch再生機能を備えた多機能な4chレシーバーです。チューナー、アンプ部の高性能追求とともに、ソースに応じた4ch再生がスイッチひとつで再現できる手軽さを実現しました。またQX-604に内蔵したCD-4ディモジュレーターは、PLLやFETなど最新の半導体回路技術を投入し、CD-4ディスクの効果を存分に発揮するすぐれた性能を持っています。

4ch3方式がアダプターなしで再生できます。

RM, SQ両マトリックスデコーダーとCD-4ディスクリット4chを効果的に再生するディモジュレーターを内蔵。CD-4ディモジュレーターはPLL、FETを駆使して、周波数特性やセパレーションに十分な配慮を施しています。使用頻度の多いレコードの場合でも雑音の発生を自動的に補正し、S/NをよくするASC回路の内蔵で、長時間の演奏にも常に安定した最良の状態を維持することができます。

混信排除能力にすぐれたFMチューナー部。

FMフロントエンドにはFETを、IF部にはICとセラミックフィルターを組合せた音質重視の本格的回路構成。混変調が少なく妨害排除能力がいちだんとすぐれています。

FRONT, REARが独立して音質調整できるトーンコントロール。

トーンコントロールは2重ボリュームを採用。FRONT REARそれぞれが独立してBASS, TREBLEのレベル調整ができるので、タイプの違うスピーカーシステムを使った場合でも、音質を合わせて使えます。また、音量バランスコントロールも3個のボリュームで構成され、FRONTの左右、REARの左右そして前後の音量を自在に調整でき、リスニング

ルームに合わせた効果的な4ch再生ができます。

10W×4のゆとりある出力のパワー部。

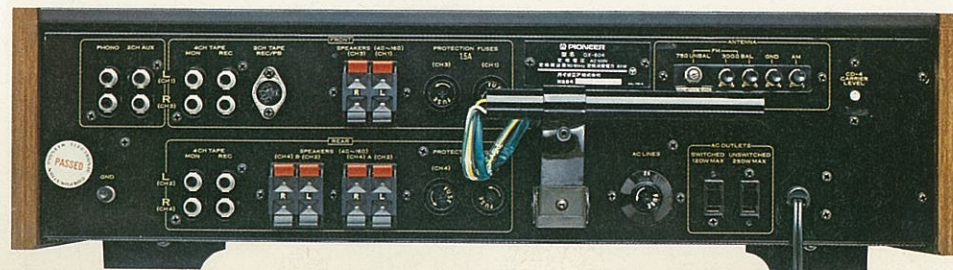
実効出力は10W×4(1kHz, 4ch駆動, 8Ω, 歪率1%以下)。またフロントだけを駆動する2ch駆動では、13W+13W(1kHz, 8Ω)です。

●不快な局間ノイズや不要な遠距離局をカットするFMミュートスイッチ。

●CD-4, RM/SQと2ch再生の表示が、モードスイッチの切換えと同時にダイヤル面に表示されます。

●音量をしぼっても、音質が耳の特性に合わせてコントロールされるラウドネスコンター。

●リアスピーカーは2組の接続が可能で、設置位置の違いによる音場効果などが比較できます。



QX-604の規格

〔使用半導体〕	FET……………9
	IC……………5
	トランジスター……………109
	ダイオード他……………44

〔パワーアンプ部〕

実効出力(20~20,000Hz2ch駆動)……………	10W+10W/10W+10W(8Ω)
(1kHz, 4ch駆動)……………	10W×4(8Ω), 11W×4(4Ω)
(1kHz, 2ch駆動)……………	13W+13W/13W+13W(8Ω)
	15W+15W/15W+15W(4Ω)

高調波歪率(実効出力時)……………	1%以下
混変調歪率(実効出力時)……………	1%以下
出力帯域幅(IHF, 4ch駆動)……………	15~20,000Hz(歪率1%)
(IHF, 2ch駆動)……………	10~30,000Hz(歪率1%)

出力端子 SPEAKER……………	フロント用1組, リア用2組
HEAD PHONE……………	フロント用1
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω)……………	40

〔プリアンプ部〕

入力端子(感度/インピーダンス)	
PHONO(2ch)……………	2.5mV/100kΩ
AUX TAPE MON……………	180mV/90kΩ
TAPE MON(DIN端子)……………	180mV/90kΩ
出力端子(レベル)	
TAPE REC……………	180mV
TAPE REC(DIN端子)……………	30mV
周波数特性 PHONO(RIAA偏差)……………	30~15,000Hz±0.5dB
AUX, TAPE MON……………	10Hz~100kHz±3dB
トーンコントロール BASS……………	+13dB, -12.5dB(100Hz)
TREBLE……………	+11.5dB, -8.5dB(10kHz)
ラウドネスコンター(ボリューム40dB時)……………	+10dB(100Hz), +5dB(10kHz)

S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)

PHONO……………	70dB以上
AUX, TAPE MON……………	90dB以上
[CD-4ディモジュレーター部]	

入力感度……………	2.5mV(1~5mV可変)
入力インピーダンス……………	100kΩ
歪率……………	0.07%

セパレーション(標準信号1kHz印加時)

LEFT~RIGHT……………	50dB
FRONT~REAR……………	30dB
周波数特性……………	20~15,000Hz

〔FMチューナー部〕

実用感度(IHF)……………	2.2μV
キャプチャーレシオ(IHF)……………	3dB
実効選択度(IHF)……………	45dB以上
S/N……………	65dB
イメージ妨害比(82MHz)……………	55dB以上
スプリアス妨害比……………	8.5dB以上
高調波歪率 ステレオ……………	0.8%以下
ステレオセパレーション(1kHz)……………	40dB以上
キャリアリック抑圧比……………	35dB
アンテナ……………	300Ω 平衡型, 75Ω 不平衡型
ミュート……………	ON-OFF

〔AMチューナー部〕

実用感度(IHF, パーアンテナ)……………	300μV/m
実用感度(IHF)……………	15μV
選択度……………	25dB
S/N……………	50dB
アンテナ……………	フェライトバーアンテナ

〔電源部その他〕

消費電力……………	80W(定格), 160W(最大)
外形寸法……………	525(W)×149(H)×360(D)mm
重量……………	12.3kg

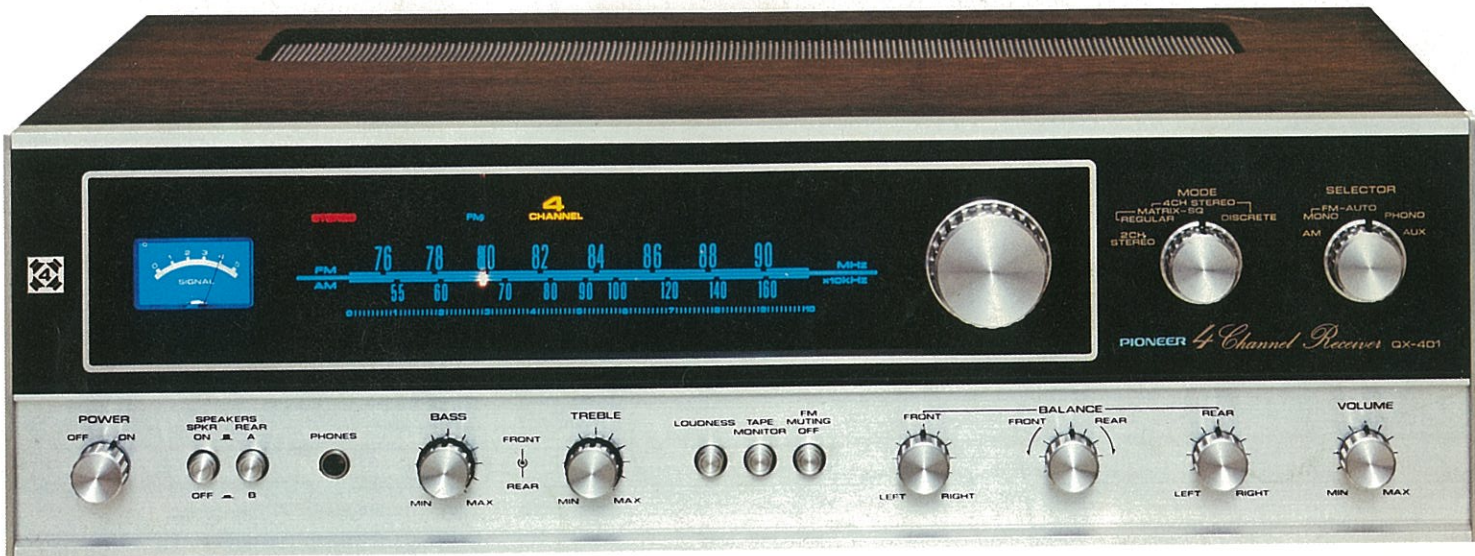
4チャンネルレシーバー

QX-401

¥68,000

RM/SQ 2方式の4ch再生機能を内蔵。実効出力10W×4(1kHz, 4ch駆動, 8Ω, 歪率1%以下)

手軽に4chが楽しめる高性能レシーバー。



QX-401は手軽に4chが楽しめる高性能ステレオレシーバーです。RM, SQのマトリックスデコーダーを内蔵、4chレコード再生はもとより、4chステレオ放送を効果的に再生します。

高感度、高選択度なチューナー、好みの音質や使用条件により最適の音質が得られるトーンコントロール、余裕あるパワー部など、各部分がすぐれた性能をもち、4chの音場を雄大に演出します。

れます。CD-4レコード、4ch再生は別売のデモジュレーターを追加することにより再生できます。

- FMチューナーは、フロントエンドにFET、IF部には、専用ICとセラミックフィルターを使用。高感度、高選択度設計でクリアな受信ができます。
- 選局時の不快な局間ノイズをカットするFMミュートスイッチつき。

●音質調整はFRONT, REARが独立して調整できる2重ボリューム、自在なトーンのコントロールができます。

●バランスコントロールは、FRONTの左右、REARの左右、そしてFRONT, REARのバランスがそれぞれコントロールできます。これにより部屋の広さ形状に合わせた効果的な4ch再生ができます。



RM/SQデコーダー内蔵。CD-4はデモジュレーター追加で再生可能。

RM/SQ4ch、それぞれに専用のマトリックスデコーダー回路と、4台のパワーアンプで構成した高性能4chレシーバーです。テープによる4ch再生はもとより、RM/SQマトリックスレコードの4ch再生、さらに2chのソースもマトリックスデコーダーを通すことによって、効果的な臨場感が得ら

QX-401の規格

[使用半導体]	FET..... 1
	IC..... 2
	トランジスタ..... 70
	ダイオード他..... 30
[パワーアンプ部]	
実効出力(20-20,000Hz, 2ch駆動).....	10W+10W/10W+10W(8Ω)
(1kHz, 4ch駆動).....	10W×4(8Ω), 11W×4(4Ω)
(1kHz, 2ch駆動).....	13W+13W/13W+13W(8Ω)
	15W+15W/15W+15W(4Ω)
高調波歪率(実効出力時).....	1%以下
混変調歪率(実効出力時).....	1%以下
出力帯域幅(IHF, 2ch駆動).....	10-30,000Hz
(IHF, 4ch駆動).....	15-20,000Hz
ダンピングファクター(1kHz, 8Ω).....	>40以上
出力端子 SPEAKER.....	フロント用1組, リア用2組
HEAD PHONE.....	フロント用1
[プリアンプ部]	
入力端子(感度/インピーダンス)	
PHONO.....	2.3mV/50kΩ
AUX, TAPE MON.....	200mV/90kΩ
出力端子(レベル)	
TAPE REC.....	200mV
TAPE REC (DIN端子).....	19mV
トーンコントロール BAS S.....	-12.5dB~+13dB(100Hz)
TREBLE.....	-8.5dB~+11.5dB(10kHz)
ラウドネスコンター(ボリウム-40dB時)	
	+10dB(100Hz), +5dB(10kHz)
S/N(IHFショートサーキットAネットワーク)	
PHONO.....	70dB以上
AUX.....	90dB以上
[FMチューナー部]	
実用感度(IHF).....	2.2μV
キャプチャーレシオ(IHF).....	3.0dB
実効選択度(IHF).....	45dB以上
S/N.....	65dB
高調波歪率 ステレオ.....	0.8%以下
ステレオセパレーション(1kHz).....	40dB以上
アンテナ.....	300Ω平衡型, 75Ω不平衡型
ミュートスイッチ.....	ON-OFF
[AMチューナー部]	
実用感度(IHF).....	15μV
選択度.....	25dB以上
S/N.....	50dB
アンテナ.....	フェライトバーアンテナ
[電源部その他]	
消費電力.....	75W(定格), 150W(最大)
外形寸法.....	450(W)×144(H)×350(D)mm
重量.....	10.1kg

取扱店

パイオニア株式会社

他の製品のカタログは希望製品名をご記入の上 153 東京目黒区区内パイオニア宣伝部カタログ係へ